

お元気ですか日本共産党村議の

川崎あつ子です

(かわさき 篤子)



2011年 10月 2日 №54

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1

TEL/FAX 029-282-0229

E-mail atsuko-k@car.ocn.ne.jp



秋風にゆれるコスモス

さわやかな陽気になってきました。

台風15号は、日本列島に大きな爪あとを残し過ぎ去りました。22日未明「久慈川が満水に達したため、全職員が招集され、避難勧告を出す

準備中です」と役場からFAXが届きました。石神小、白方小、久慈中の各体育館が避難所になり、白小に私も駆けつけました。豊岡、亀下のみなさんが心配しながら続々と集まり、夜も明

けた5時半頃、やっと解除になりました。

白小避難受付をされ方は286名、石神小は120名でした。

関係されたみなさまお疲れ様でした。



9/20～放射線測定器「村無償貸出」開始



村は、9月20日から放射線の簡易測定器の貸出を始めました。

村HPから いまだ収束のめどが立たない福島原発事故。福島の子供たちは、この秋晴れのもと、外遊びさえ出来ない状況が続いています。「私たちの周りの放射線の量はどうか、正確な値を確認しながら生活を送りたい」との声が寄せられ、測定器配備の拡充を求め

てきました。

8/20、白方コミセンでの議会報告会の折、コミセンの放射線測定器で計測を行いました。身近で気になるものを持ってこられた方は「どんな状態なのか分かって安心しました」とホッとされていました。

遅ればせながら村は、未配備だった保育所・幼稚園、一般貸出用として簡易計測器計30台の購入を行いました。

お気軽におこしください

一般貸出にあたっての【問い合わせ先】：

東海村総合政策部まちづくり国際化推進課

TEL282-1711 (代) 内線1341, 1342

貸出は1回あたり1日最大3時間まで

※ 事前に「申請書」の提出が必要です

「地表面から50cmの高さ、1時間あたり0.25 μ Sv (マイクロシーベルト) 以上を目安に土壤の除去を行います。

除去を行うのは、私有地は各個人(所有者)、公共施設は役場(各担当課室)です」と村はしていますが、それで良いのでしょうか。私有地を汚したのは国と東電です。

一般質問

9月議会は、22日終了しました。一般質問は6項目に分けて行いました。

1、地域防災計画見直しの経過と課題、今後どう進めるのか。

大震災の経験を生かし「安心して東海村に住み続けたい」との声。
2、家屋など一部損壊の修繕費の助成を、どう考えるか。

「なぜ財政の豊かな東海村でできないのか」と疑問の声。村は、他市町の実施自治体の状況を把握しているのか。

3、村は、遅ればせながら、放射線の空間線量測定器30台を購入、10台を貸出す予定。機器の活用方法は、また今後購入する土壌や学校給食の測定器の購入のきっかけは、金額と台数、入荷はいつか。収束の見通しも、原因の究明もされない福島第1原発「私たちの体への影響はどうな

のか」と不安な声が寄せられている。

4、太陽光発電は、太陽が照っている日中のみの利用「蓄電器が利用できれば良い」との声もある。補助が必要ではないか。村は自然エネルギー政策をどのように考えているか。「原発依存のエネルギー政策を根本から見直す必要がある」「太陽光発電を、より利用しやすくする施策を考えて欲しい」との声が寄せられている。

5、東海第2原発に対する今後の村長の考えは。村長の言う推進と規制機関の組織分離がいま緊急に必要。この規制機関は何にもとづく設立で役割と目的は何か。
6、村政懇談会。質議応答後の村の動きはどうか。「住民と膝を突き合わせた懇談、聞きっぱなしでは困ります」と心配する意見があった。

○ 9月議会報告会
○ 10月8日(土)
14時から
○ 白方集会所

《バックナンバーは「川崎あつ子」検索でお読みいただけます》

認めていいのか！ 三菱原燃のウラン粉末増産



三菱原子燃料は、今年度の新增設計画を議会に説明しました。原発の燃料になるウラン再転換工程を変更し、2倍以上の増産と、原料貯蔵所や燃料集合体組立施設、廃棄物管理倉庫の増設をめざしています。

9/5日本共産党県委員会は、三菱原子燃料に行き、工場長に説明を求めました。増産・増設の目的はアメリカが新設する大型原発の燃料。さらに他の国への輸出に向けての増産も加わっているということです。

政府の原子力新成長戦略に基づく、原発輸出拡大の計画です。福島原発事故の収束の見通しがつかず、日本のエネルギー、原子力政策の転換が国民的に議論されている中で、このような増設計画を認めていいのでしょうか。日本共産党は、県・村議会において首長の姿勢をたどしました。

この夏の ゴーヤミルク



今夏は、我家のグリーンカーテンに実ったゴーヤ、バナナと牛乳をミキサーにかけ、ゴーヤミルクにして、毎朝たっぷりいただきました。



原発災害から命と安全守れ

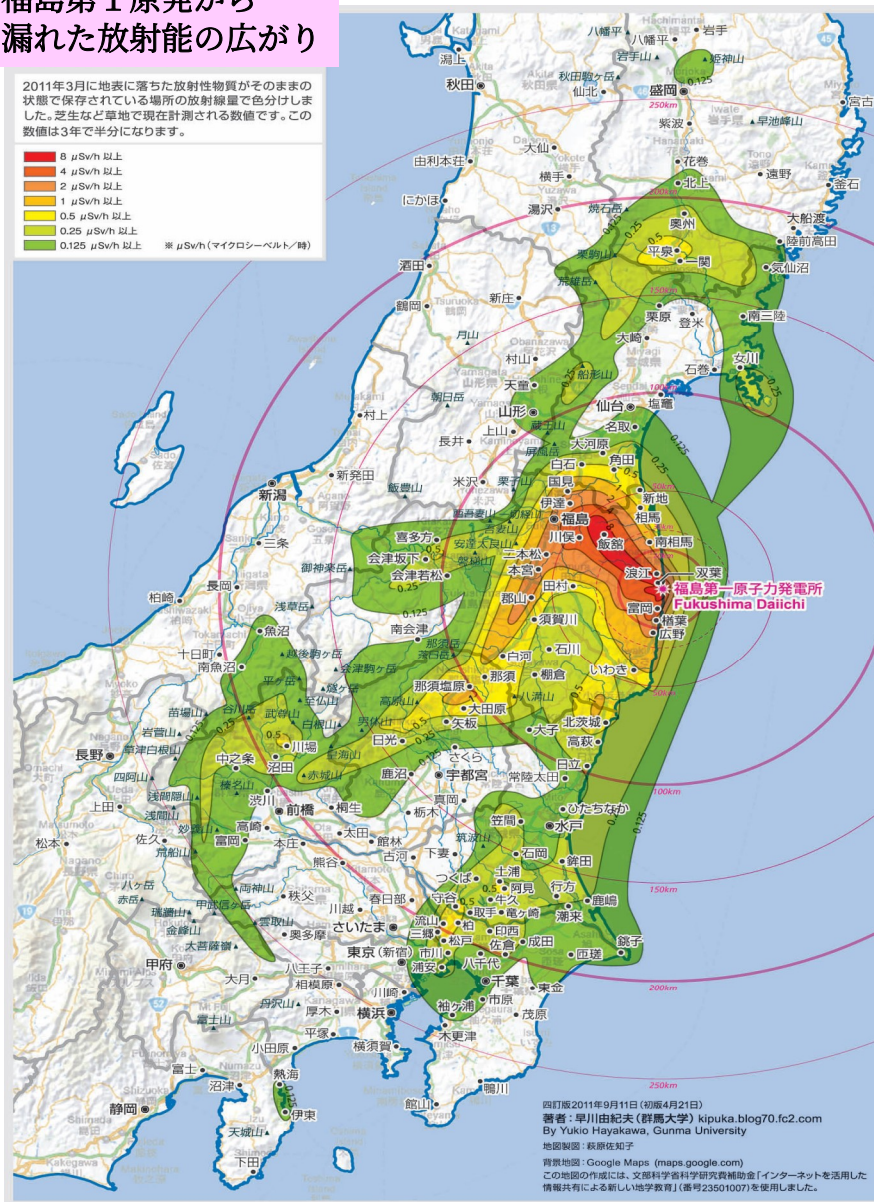
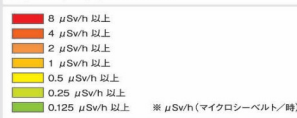
衆院予算委 志位委員長が質問

除染 賠償 再稼働 国の責任の根本をつく

2011年9月28日(水)「しんぶん赤旗」

福島第1原発から 漏れた放射能の広がり

2011年3月に地表に落ちた放射性物質がそのまゝの状態と保存されている場所の放射線量が色分けしました。芝生など草地で現在計測される数値です。この数値は3年で半分にになります。



「被害者と国民・子どもの命を守るため国は責任を果たせ」―日本共産党の志位和夫委員長は27日、衆院予算委員会に質問し、放射能汚染対策、損害賠償、再稼働―など福島原発事故の対応の根本問題で野田内閣の認識をただし、首相から「事故原因の究明がすべてのスタートの大前提」などの答弁を引き出しました。

訂正版2011年9月11日(初版4月21日)
著者：早川由紀夫(群馬大学) kipuka.blog70.fc2.com
By Yukio Hayakawa, Gunma University
地図制作：森新太郎
背景地図：Google Maps (maps.google.com)
この地図の作成には、文部科学省科学研究費補助金(インターネットを活用した情報共有による新しい地学教育) (番号23501007) を使用しました。